



九十九島

〔学校教育目標〕

心豊かで 活力に満ちた 生徒の育成

〔行動目標〕

気づき 考え 実行する

学校HP : <http://www.city.sasebo.ed.jp/jh-hino/>

文責 前田 英穂 (平成29年3月10日発行)

15の春、人生最初の岐路に立つ！ 3年生のみなさんお疲れ様でした。

長崎県公立高校入学者選抜検査が、3/8(水)～3/9(木)実施されました。3年生にとっては、人生最初の岐路となる学力・面接の検査でした。3年生は、この岐路に立つために、この1年間は受験生として苦しい期間であり、日々自分との戦いの連続だったことと思います。今、無事終了して緊張と不安から解放された安堵感と喜びで一杯のことだと思います。(お疲れ様でした。次は、義務教育9年間の集大成となる卒業式です。しっかり心に刻む思い出となるよう自身の卒業式を立派に演出してください。最後の3年生の晴れ姿に期待しています！)

ところで、1・2年生は、3年生が人生最初の岐路に立つ日をどう捉えたのでしょうか？①高校へ進学したいとの思いを強く持てた!?②自ら苦しい勉強に立ち向う決意を抱いた!?これらの思いと決意を抱く時が、今です!今からやらなくていつやる!!準備期間は、わずか1年間、2年間しかありません。そのために、

1・2年生は、必見です!!

本年度の長崎県公立高校選抜検査問題の傾向が、新聞に掲載されていました。その一部を紹介します。これまでの傾向と同様に、「読解力と思考力・表現力を問う」ことがポイントとなったようです。今後の授業の中で、各教科の先生からも詳しい解説があると思いますので、しっかりポイントを記録しておきましょう。

(こういった記録が、後に役立つのです!! また、この学校便りも自学ノート等に貼っておくと日々の自学時にポイントの確認ができますよ!要は、如何に準備を進めていくかです!)

※以下に、朝日新聞の記事を掲載しました。

【国語】表現問題に大きな変化

例年と同じ大問四つの構成で、語句の意味や文法などの基本事項とともに読解力が問われた。全体的に取り組みやすい設問が多く、例年と比べて難度は下がったように思われる。

最後の④の表現問題に大きな変化が見られた。例年50字前後で文を補充して完成させる短文作成の問題であったが、今回は100字以内の条件付作文であった。自分の立場を明確にし、示された資料を的確に読み取ったうえで理由を述べる力が要求された。日頃から「情報分析力」「論理的思考力」「表現力」を高めることを念頭に置いて、国語学習に取り組むことが肝要である。

【社会】資料と問題文読む力を

出題傾向は近年と変わらず、中学生の学力を測るのに適正な問題構成となっている。難易度も変化なく、教科書中心の勉強で解答可能だが、日頃の学習において資料と問題文を読む力をつけておくことも大切だ。

歴史分野では、基本的知識の習得と、教科書の資料の持つ意味を理解することが求められている。地理分野では、地形図、日本地図、世界地図の理解と、データを読み取る訓練もしておく必要がある。公民分野では、日本国憲法や選挙制度など人権に関わる部分は重点的に学習しておくべきだ。

【数学】発展的問題やや難しく

設問数や大問構成は例年通りで、「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の各領域にわたって偏りなく出題されている。昨年に比べ、基礎的な問題の難易度は大差なかったが、発展的な問題は、やや難化したように感じられた。

共通問題は表現力を問う問題も含めて取り組みやすく、A問題は基礎的な数学力の習熟で十分対応できた。B問題は問題文が長く複雑化し、計算力や解の吟味を要する問題もあった。基礎的な数学力に加え、複雑な問題に対応できる正確な読解力と判断力が必要とされた。

【理科】理解力問われた選択問題

化学・物理・生物・地学の各分野より大問2題ずつの計8問の構成。今年を受験生が大学入試センター試験を受ける最後の学年となるが、例年と出題の形態・内容・難易度もほぼ変わらず標準的な問題であった。

記述問題は大問に1題ずつ、計算問題は4題と、ほぼ例年通り。問題としては複雑なものではなく、しっかり基本を理解しているかが問われた。しかし、選択問題では、内容をよく理解していないとミスしやすい問題が多く、受験生も迷うところが多かったと思われる。今後は、センター試験に変わる新テスト導入に向けて、思考力・判断力・表現力の養成に力を入れていく必要があろう。

【英語】会話力・表現力が鍵握る

A・B共に大問6題という例年通りの出題構成で、難易度も昨年とほぼ同じだった。B問題では語順整序問題が例年とは違う2題となり、後置修飾の文、形式主語の文の理解が試された。⑤の絵の流れから文を作る問題はそれほど難しくなかった。語彙力、文法力はもちろん、読解力と表現力を身につけた受験生にとっては標準的な問題と言えるのではないだろうか。

英語の学習に必要とされる領域の中でも、特に会話力・表現力を試す問題にどれだけ時間をかけて取り組んでいくかが、入試の重要な鍵を握ることは間違いない。

第16回卒業証書授与式は、

3月15日(水)10:00 開式です。

123名の卒業生が、日野中学校を巣立ちます。